

平成26年度（第18回）

熊本市中学生による

子ども議会

と き 平成26年8月8日（金）午後1時30分

ところ 熊本市議会議場

議事次第

- 市議会議長あいさつ
- 子ども議会議長選出
- 開会
- 子ども議会副議長選出

議事日程

第一 市長施政方針演説

第二 一般質問

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1 公園の利用のあり方と自転車専用レーンについて | 【第6班】 |
| (1) 公園の利用のあり方について | |
| (2) 自転車専用レーンについて | |
| 2 地域交流とスマートフォンの使用方法について | 【第2班】 |
| (1) 中学生の地域活動への参画について | |
| (2) スマートフォンの正しい利用に向けた取組について | |
| 3 熊本の特産物と「ひごまる」のPRについて | 【第5班】 |
| (1) 熊本市の特産物を使った5区弁当について | |
| (2) 「ひごまる」の活用について | |
| 4 地域の防災対策と熊本市の財政について | 【第1班】 |
| (1) 地域版ハザードマップや「まなぼうさい」の今後の取組について | |
| (2) 財政に関する広報について | |
| 5 オレンジリボン運動と「健康づくりできます店」について | 【第3班】 |
| (1) 「オレンジリボン運動」周知のための取組について | |
| (2) 「健康づくりできます店」について | |
| 6 ごみ分別の啓発と地下水量の保全活動について | 【第4班】 |
| (1) ごみの減量とリサイクルの推進について | |
| (2) 地下水量の保全について | |

- 閉会
- 市議会副議長あいさつ

平成26年度（第18回）熊本市中学生による子ども議会

1 目的 子どもたちの市政に対する意見を聞くとともに、次代を担う子どもたちが熊本のくらしや未来について語り合うことで、自他を大切にする市民としての意識を高める。

2 主催 熊本市・熊本市議会・熊本市教育委員会

3 参加者 熊本市内の中学生 52人

熊本市立中学校42校から42人

私立中学校8校から8人

熊本大学教育学部附属中学校から1人

熊本県立熊本豊学校から1人



H26年度 子ども議員

4 内容 研修会① 7月29日（火） 9:30～16:30 市議会について、質問作り
 研修会② 7月31日（木） 9:30～16:30 質問完成、リハーサル、市長室訪問
 本会議当日 8月 8日（金） 9:30～12:00 リハーサル
 13:30～15:30 本会議

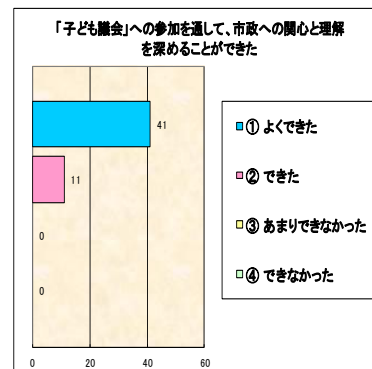
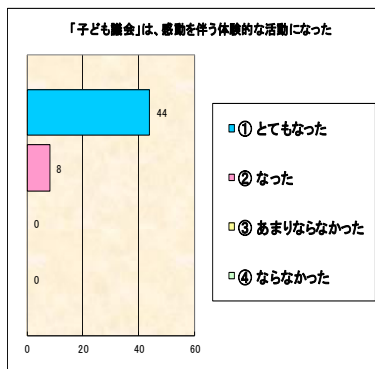
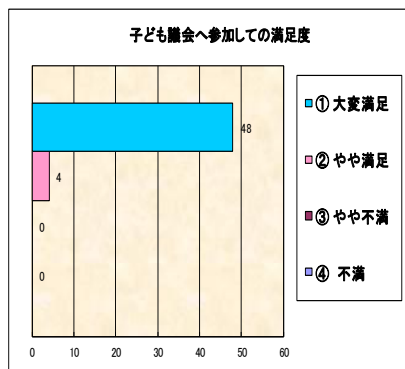
議会常任委員会分野ごとに6班（各班8～9人）を編成し、市政に対する要望・課題・疑問について焦点化を行い、改善案や提案事項を話し合い、質問案を作成し、本会議において質問をする。

5 参加者の主な感想

- ・熊本市の仕組み等が分かったので積極的に市の活動に参加していきたい。その他、子ども議会で学んだことを学校のみんなに伝えていきたい。
- ・もっと市政や国の施策に関心をもち、もっと人間性を豊かにして、将来は国や県を背負う人になりたい。
- ・大勢の人前で意見が言えたのは自信になった。これから学校生活でも実践していきたい。
- ・自分たちが熊本市のことにしてもっと知ろうとしたり、いろいろな角度から発言したりしていきたい。
- ・普段自分の考えをなかなか言えない自分は、今回いろいろな意見を言える楽しさが分かったので、これからの学校生活にいかしていきたい。
- ・学校での生徒会活動や委員会活動で、積極的に話し合う場面で今回の経験を生かしたい。
- ・今回子ども議会に参加して、自分に自信がもてるようになった。

（高校生の感想より）

- ・市長をはじめ市政に関わっておられる方々から答弁を聞くことができ、今回の中学生の質問が身近な課題であることを実感することができた。
- ・熊本市をよりよくするために、子どもとおとなが意見を言える場があるのはすごくいいことだと思う。



<子ども議会終了後の子ども議員へのアンケートより>

平成26年度(第18回)熊本市中学生による子ども議会 質問・答弁骨子

	質問項目	質問内容	答弁内容	担当局
1班	地域の防災対策と熊本市の財政について	「まなぼうさい」や地域版ハザードマップについて、今後どのように取組んでいくのか。	「まなぼうさい」をはじめとした防災の取り組みが、地域において数多く開催されるよう働きかける。地域版ハザードマップは、できる限り早急に市内全域での作成・配付を目指し、災害時の避難等に役立ててもらう。	総務局 (市長答弁)
		熊本市のお金の使い方を分かりやすく伝える方法を検討してもらいたい	市政だよりやホームページでもイラストの活用や分かりやすい表現に心がけたり、パンフレット「私たちの生活と市税」の内容を見直したりしていく。	財政局 (財政局長答弁)
2班	地域交流とスマートフォン使用方法について	地域交流について、中学生の視点で新たな提案ができるような意見を伝える場を設けてほしい。	中学生にも情報が伝わるような広報手段の充実を図ると共に、中学生から様々なアイディア・意見をいただくための仕組みを検討する。	企画振興局 (市長答弁)
		学校で自分たちのルールが作れるように働きかけていくので、保護者に、スマートフォンの危険性や作ったルールが伝わるように協力していただけないか。	教育委員会としても、校長先生にこの提案を伝え、各学校でルールづくりに向けて取り組んでいけるように支援していく。また、各学校でルールができたなら保護者の方に見ていただけるように様々な機会をとらえ協力をはたらきかけていく。	教育委員会事務局 (教育長答弁)
3班	オレンジリボン運動と「健康づくりできます店」について	「オレンジリボン運動」をもっと多くの人に知ってもらうために、今後どのようなことに取り組んでいくのか。	若者に対して「オレンジリボンサポーター養成講習会」への参加を呼びかけたり、身近な施設で講習会を受講できるようにしたりする。また、中学生にも「オレンジリボンサポーター」の輪を広げていきたい。	健康福祉子ども局 (市長答弁)
		「健康づくりできます店」をたくさんの人に知ってもらうために、今後どのような取組みを考えているのか。	市政だよりや市ホームページの活用以外に、ウェブ上に地図情報を掲載しスマートフォンから検索しやすくする。また、店舗を巡るスタンプラリーを実施予定。	健康福祉子ども局 (健康福祉子ども局長答弁)
4班	ごみ分別の啓発と地下水量の保全活動について	全市民参加によるごみの集団回収と、音の鳴るごみ箱の公共施設への設置について。	全市民が一斉に実施するのは難しいが、人が多く集まる機会に合わせた集団回収の実施を提案していく。また、環境フェアにおいて音を利用したごみの分別体験コーナーの設置を検討する。	環境局 (環境局長答弁)
		地下水かん養事業やウォーターオフセット事業をどのように進めていくのか。	かん養事業に加え、節水を呼びかけていく。また、白川中流域で作られた農産物を購入することで、地下水を育むことにつながるウォーターオフセット事業を進めていく。	環境局 (市長答弁)
5班	熊本の特産物と「ひごまる」のPRについて	熊本市の各区の特産物を使った「五区弁当」を開発してはどうか。	多くの事業者や団体等から、おいしくて郷土色豊かな弁当を募り、専門家だけでなく市民も投票を行うコンテストを実施する予定である。最優秀の弁当は駅や空港等で販売すると共に、各イベント等で活用したい。	農水商工局 (市長答弁)
		熊本市がより一層活気づくために、「ひごまる」をどのように活用しようとしているのか。	ぬいぐるみなどのひごまるグッズを増やしたり、熊本城や城彩苑でおもてなし活動を行ったりする予定。	観光文化交流局 (観光文化交流局長答弁)
6班	公園の利用のあり方と自転車専用レーンについて	公園のルールを決める話し合いに、中学生も参加することはできないか。また、公園利用のモラル向上についてどのような取り組みをしているか。	中学生が公園のルールづくりに参加できるよう地元自治会や公園愛護会に積極的に働きかける。また、各公園にマナー啓発のための看板を設置したり、地元の小中学校にモラル向上の協力を依頼したりしている。	都市建設局 (市長答弁)
		自転車専用レーンを、市内のどれくらいの範囲で整備していく予定なのか。	藤崎宮前交差点から坪井橋までの約500m区間、龍神橋から白川橋までの約5kmの区間について関係者と協議を行っている。	都市建設局 (都市建設局長答弁)